

【みやらびカップ】モルック大会

～（ローカルルール① 競技規則と道具について）～

- ① 競技は1試合12分とし、【50点を先取したチームはその時点で勝利】となる。ただし、12分経過時点で50点に達したチームがない場合は【後攻のチームまで競技を行ない】獲得点数の多いチームを勝利とする。
- ② 競技者は幅1m50cmのスローイングラインからモルックを投げて競技を行なう。
- ③ 各コートには2～3名の審判員を配置し、呼び出し・スキットルの立て直し・得点表示などを行なう。
- ④ 競技中3回連続で失敗（無得点）となった場合、そのチームは5点【減点】とする。
- ⑤ 専用競技用具として【くびれ付きの棒※図1】【木製ボール※図2】【視覚障害者用ボード※図4】を用意する。用具の使用については審判員の指示に従うこと。



図1 くびれ付きの棒

用具の“くびれ”の部分に指をかけて投げることができる。
モルック棒（通常）を握ることが難しい方むけ。



図2 木製ボール

転がすことでの的であるスキットルを狙う。
モルック棒やくびれ付きの棒を投げることが
難しい方・飛距離が伸びない方むけ。



図3 大きさ比較



図4 視覚障害者用ボード

的となるスキットルの位置関係を
簡易的に示すためのボード。
各ピンの番号は数字と点字で示している。



図5 使用例

【みやらびカップ】モルック大会

～（ローカルルール② 身体機能のバランス調整）～

【みやらびカップ】モルック大会では、障害者を含むチームと一般チームとの身体機能の差を調整するため、以下のローカルルールを設けて競技を行ないます。

一般チームの皆さんには“身体機能の制限下”でのモルックを体験し、身体障害者への理解・関心を高めていただきたいと思います。なお、身体機能の判定は事務局にて対戦表の作成時に行ないます。※一般チームとは健常者3人で構成されたチームを指します。

相手チームの障害種別に応じて一般チームは・・・

【視覚障害】

全盲・弱視問わず
1人につき…



【アイマスク着用】

チームから視覚障害者の人数に応じて
アイマスク着用の選手を選出します。



【車いす使用者】

1人につき…



【座位での競技】

チームから車いす利用者の
人数に応じて座位
（車イス使用）選手を
選出します。



【肢体障害】

※片麻痺の方
1人につき…



【利き腕と逆の腕】

チームから肢体障害者の人数に応じて
利き腕と逆の腕で競技する選手を選出
します。



右利きの場合